

備前市施策評価シート

(平成19年度事業)

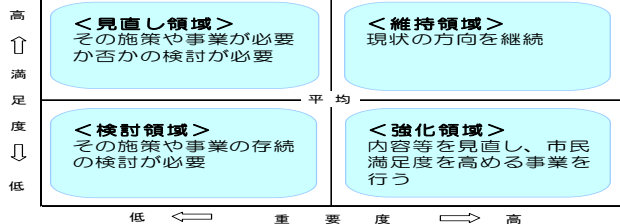
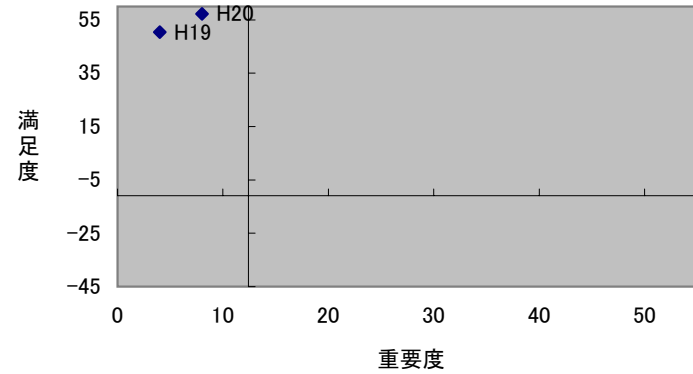
施策名 (小項目)	水源開発と水利用	コード	作成者	役職	水道課長
		01-01-08	氏名	川辺健作	
			電話	0869-66-9793	

備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目(基本施策)	生活しやすいまちづくり
① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	常に安定した安全な水を市民に供給できるよう、水資源の確保と水源施設の管理を行う。	
② 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	本市は、一級河川の吉井川と金剛川を抱え、水源としては恵まれた環境にあります。水道は、市民の健康で快適な生活と経済社会を支える根幹的な施設であり、将来にわたる安定した水源を確保する必要があります。	
③ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 水源の安定確保 節水対策 	

④ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21
重要度(%)	7.3	10.7	
満足度(%)	50.4	57.3	



調査結果に対するコメント、市民の反応等	水道に対する市民の感覚は、蛇口をひねると常に良質な水が出てあたりまえという感覚であり、それだけに常に安全で安定した飲料水の供給ができるよう事業運営に努める。
---------------------	--

⑤ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			目標値			ベンチマーク	指標の説明
		H17	H18	H19	H20	H23	H28		
1 水質管理項目数	項目	50	50	50					
	実績	50	50	50					
	達成率	100.0	100.0	100.0					
2 水源余裕率	%	162	162	162					日最大配水量に対して確保している水源水量で取水の余裕度を示す
	実績	162	162	162					
	達成率	100.0	100.0	100.0					
3 自己保有水源率	%	89.7	89.7	89.7					全水源水量に対する自己所有の水源水量(貯水井)で取水の自由度を示す
	実績	86.1	86.1	86.1					
	達成率	96.0	96.0	96.0					
4 配水池貯留能力	%	1.5	1.5	1.5					配水池の容量が平均配水量の何日分あるかを示す
	実績	1.1	1.1	1.1					
	達成率	73.3	73.3	73.3					

⑥ 施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									H20当初予算		
				H17			H18			H19					
				直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数			
1 水源管理事業	B	水源施設維持管理事業	施設維持管理	52,930			56,677			53,524	18,071	2.03	☆☆☆	\$\$\$	52,573
		岡山県広域水道企業団運営経費等負担金	内部管理	8,581	12,451	1.70	8,686	9,465	1.22	10,165	0	0.00	☆☆	\$\$\$	10,216
		吉井川坂根堰管理負担金	内部管理	5,997			5,777			6,045	0	0.00	☆☆	\$\$\$	4,661
		八塔寺川ダム管理費等負担金	内部管理	2,989			4,958			4,923	0	0.00	☆☆	\$\$\$	892
この施策に費やした資源(単位:千円,人)				H17	H18	H19	H20当初(直接事業費)								
				70,497	12,451	1.70	76,098	9,465	1.22	74,657	18,071	2.03	68,342		

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
岡山県広域水道企業団	水質管理	県内の水道用水供給事業に関する事務を共同処理する目的で設立された企業団であり、水源開発事業や水道水質の共同検査等を実施している。

⑧ 施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度(中・長期目標に対する)	4	水量が豊富で良質な水源に恵まれており、安全で安定した水道水の供給が行われている。	3	水源の取水量に余裕があるため取水井戸の効率的な運転管理の方策を考えること。
2 事業構成の適当性	3	水質の高度化や、浄水施設の更新を順次行うために組織を充実させる必要がある。	3	整備計画の妥当性を見直しながら実行すること。
3 施策の有効性(評価年度の目標達成)	3	将来にわたって、安全で安定した水道水を供給するために水道技術者の継承が必要である。	4	計画的に施設更新事業の執行を推進すること。
担当への指示(今後の展開・協働の可能性・事業見直し・新規事業創出等)	更なるコスト削減を図るために、浄水施設の運転保守業務の効率化の観点から民間委託の可能性を検討し、部分委託も視野に入れて実施してはどうか。		将来像を考えながら効果的な施策を実施することが妥当である。	
二次評価者コメント	水道事業の管理運営を効率的に実行し、また基本計画に基づき施設更新を推進していくこと。			基本施策への貢献度
役職 上下水道部長 氏名 田代 准				3中立